

平成29年度 公益財団法人山形県体育協会 事業報告

1 スポーツ振興に関する事業

(1) 生涯スポーツの推進

①地域体育協会の活性化を図った。

- ・地区体育協会連絡協議会への活動支援と連携（7地区）
- ・市町村体育協会との連携

②総合型地域スポーツクラブの活性化を図った。

- ・総合型地域スポーツクラブへの活動支援
- ・クラブリーダーの育成

(2) スポーツ指導者の養成と活用

①スポーツ指導者養成講習会を開催した。

②県スポーツ指導者研修会を開催した。

期日：平成29年10月14日（土）

場所：山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」 2階 大会議室

内容：講演Ⅰ「傷害予防とコンディショニングについて」

NTC高地トレーニング強化拠点（蔵王アスリートヴィレッジ）

アスレティックトレーナー 伊藤 ちぐさ 氏

講演Ⅱ「ジュニア期におけるスポーツ指導のあり方」

国際武道大学 体育学科 准教授 眞鍋 芳明 氏

③県スポーツ指導者連絡協議会との連携を図った。

(3) 普及事業の推進

①県縦断駅伝競走大会への支援を行った。

②県少年少女スポーツ交流大会への支援を行った。

③県高等学校体育連盟・県中学校体育連盟への活動支援と連携を図った。

(4) 競技団体活動の支援

国体正式競技種目以外の17競技に対して活動支援事業を行った。

(5) 企業スポーツ活動への支援

企業スポーツの育成と活性化を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」へ支援を行った。

(6) 顕彰に関する事業

本県スポーツの発展に貢献した個人・団体に対し、本会表彰規程に基づき、次の表彰を行った。（山形県スポーツ賞・山形県体育協会表彰授賞式として開催）

①殊勲賞49名・8団体

②奨励賞13名

③功労賞15名・ライオンズスポーツ賞5名

④感謝状 3名

⑤特別賞 1名

(7) 広報に関する事業

- ①ホームページの充実を図り、体協活動の積極的な情報を提供した。
 - ・体協活動の発信
 - ・協賛企業・会員の募集等
- ②県体協機関紙「スポーツ山形」106・107号を発行した。
- ③スポーツ少年団広報誌「大空に翔る」33号を発刊した。

(8) 山形県スポーツ会館管理事業

本県スポーツ団体の拠点施設として、適切な管理運営を行った。

2 少年スポーツの振興に関する事業

ジュニアスポーツの活性化と青少年の健全育成を目標に事業を推進した。

(1) スポーツ少年団の普及と活動の充実

- ①指導者の育成と指導者組織の充実を図った。
 - ・山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会
105名参加 平成29年11月18日(土) 飯豊町
 - ・スポーツ少年団認定員養成講習会
160名受講 平成29年11月25日(土)～26日(日) 山形市総合スポーツセンター
77名受講 平成29年12月2日(土)～3日(日) 寒河江市文化センター
39名受講 平成29年10月28日(土)～29日(日) 尾花沢市文化体育施設サルナート
75名受講 平成29年11月4日(土)～5日(日) 最上町中央公民館
54名受講 平成29年10月14日(土)～15日(日) 高島町中央公民館
61名受講 平成29年11月11日(土)～12日(日) 鶴岡市朝陽武道館
74名受講 平成29年10月28日(土)～29日(日) 酒田市武道館
 - ・東北ブロック指導者研究協議会
3名参加 平成29年11月16日(木)～17日(金) 仙台ガーデンパレス
- ②関係機関・団体との連携
 - ・市町村スポ少・スポ安事務担当者研修会
65名参加 平成30年2月28日(水) 山形県スポーツ会館
- ③リーダーの養成と活動環境～
 - ・ジュニア・リーダースクール
17名参加 平成29年8月19日(土)～20日(日) 山形県総合運動公園
 - ・北海道・東北ブロックリーダー研究大会
3名参加 平成29年10月7日(土)～9日(月) 秋田県青少年交流センターユースパル
- ④各種交流事業
 - ・山形県少年少女スポーツ交流大会(16競技)
4,356名参加 平成29年10月1日(日) (主会期) 県内各地区会場
 - ・東北ブロック、山形県スポーツ少年大会
124名参加 平成29年8月3日(木)～5日(土) 山形県飯豊少年自然の家
 - ・日独スポーツ少年団同時交流事業
5名参加 平成29年7月31日(月)～8月17日(木) (派遣) ドイツ各地
9名受入 平成29年7月28日(金)～8月1日(火) (受入) 酒田市・遊佐町

(2) 青少年の健全育成

- ①加盟団体があらゆるスポーツ活動の機会を通じ、「フェアプレー精神」の高揚を図った。
- ②体罰等の根絶について指導徹底を図った。
- ③環境に配慮するスポーツマンの育成を図った。

3 競技力の向上に関する事業

全国大会及び世界で活躍する選手の育成と支援を図った。

(1) 国民体育大会及び東北総合体育大会に係る事業

- ①第72回本国体県予選会・73回国体冬季大会県予選会を開催した。

第72回本国体県予選会

- ・本大会（主会期） 7月7日（金）～9日（日） （県内各地）
37競技 5,368名参加（72回：5,426名）

第73回国体冬季大会県予選会

- ・アイスホッケー 11月3日（金）（磐梯熱海アイスアリーナ）
41名参加（72回：65名）
- ・スケート 12月9日（土）（山形市総合スポーツセンター）
27名参加（72回：25名）
- ・スキー 平成30年1月10日（水）～21日（日）
アルペン（最上町 赤倉温泉スキー場）
クロスカントリー（上山市 上山・坊平高原クロスカントリー競技場）
ジャンプ・コンバインド（山形市 クラレ蔵王シャンツェ、坊平高原クロスカントリー競技場）
合計152名参加（72回：154名）

- ②第44回東北総合体育大会に参加した。

- ・主会期 8月18日（金）～20日（日）（秋田県内各地）
36競技 1,018名参加（43回：1,049名）⇒ 選手・監督

- ③第72回本国体・73回国体冬季大会に参加した。

○第72回本国体

- ・会期前 9月9日（土）～9月17日（日） （愛媛県下）
- ・主会期 9月30日（土）～10月11日（火） （愛媛県下）
33競技、446名参加（71回：413名）⇒ 選手・監督

<第72回国民体育大会成績>

天皇杯得点873.5点（71回：929.0点）第31位（71回：26位）
皇后杯得点541.5点（71回：566.0点）第25位（71回：23位）

○第73回国体冬季大会（平成30年）

- ・スケート 1月28日（日）～2月1日（木）（山梨県甲府市）
39名参加（72回：23名参加）
- ・アイスホッケー 1月28日（日）～2月1日（木）（神奈川県横浜市）
参加なし
- ・スキー 2月25日（日）～2月28日（水）（新潟県妙高市）
85名参加（72回：73名参加）

<第73回国民体育大会冬季大会成績>

天皇杯得点140.0点（72回：127点）第8位（72回：11位）
皇后杯得点74.0点（72回：69点）第5位（72回：7位）

④強化環境の整備を図るために、強化コーチングスタッフ及び強化指定選手の指定を行った。 657名（監督・コーチ140名、選手517名）

(2) スポーツ医科学支援体制の充実

①国民体育大会・東北総合体育大会へ帯同ドクター・帯同トレーナーの派遣を行い、医学的サポートを行なった。

②アンチ・ドーピング啓発を行った。

③日本体育協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレティックトレーナーの資格取得促進と活用を図った。

④スポーツ医・科学の充実強化のためのマルチサポートセンター設置に向けた準備を行った。

⑤「スポーツ医科学活動報告書」を作成した。

(3) 優秀指導者・選手確保事業

優秀指導者・選手をスポーツ指導員及びスポーツ技術員として確保し、本県の競技力の向上を図った。

(4) 競技強化支援事業

①平昌・東京オリンピックに向けた重点的かつ集中的な強化を行った。

②競技スポーツ普及・強化のために、スポーツ関係団体が実施する事業を支援した。

③女性アスリートの競技力向上を図るため、研修会を開催した。

(5) 国際競技大会出場監督・選手への激励

国際競技大会出場監督・選手へ、延べ36名に対して激励を行った。

(6) スポーツタレント発掘事業への支援

将来のトップアスリート育成を計画的に実施する「スポーツタレント発掘事業」への取り組みと支援を行った。

4 財政の確立と組織体制の充実

(1) 財政基盤の確立

将来を見通した計画的な運営を行うとともに、賛助会員の拡大等を精力的に推進した。

《参 考》

1 開催会議等

- | | |
|---------------------------|----------|
| ① 県体協理事会 | 2回 |
| ② 県体協評議員会 | 2回 |
| ③ 県体協各専門委員会 | 委員会毎随時開催 |
| ④ 国民体育大会監督会議 | 1回 |
| ⑤ 国体県予選会実行委員会・運営委員会 | 1回 |
| ⑥ 少年少女スポーツ交流大会実行委員会・運営委員会 | 3回 |

2 出席会議等

- | | |
|------------------------------|----|
| ① 日本体育協会評議員会 | 2回 |
| ② 日本体育協会加盟団体事務局長会議 | 1回 |
| ③ 都道府県体育協会連合会総会 | 1回 |
| ④ 都道府県体育協会連合会事務局長研修会 | 1回 |
| ⑤ 都道府県体育協会事務局職員研修会 | 1回 |
| ⑥ 東北六県体育関係者会議（東北6県体育協会連絡協議会） | 2回 |
| ⑦ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会 | 2回 |